

今年も男子宿泊訓練『夏季特別合宿』を実施！！



今年度も8月16日（金）～17（土）の1泊2日で丹沢湖キャンプサイトにて利用者3名、ボランティア1名、職員1名の男子宿泊訓練『夏季特別合宿』を行いました。

この『夏季特別合宿』は、月1回の宿泊訓練の成果を発揮することを目的として行ったものです。

当日は、8時45分に第3ありんこホームを出発し、バーベキューなどの食材の買い物をし、午前11時30分頃、丹沢湖キャンプサイトに到着しました。

到着後は、各自荷物を整理し、皆で役割分担を決め、手際よく素早く「カレーライス」「稲庭うどん」を作りました。「カレーライス」は、にほん蕎麦屋さんの「カレー

ライス」のように和風味となり、とても短時間に作ったとは思えないほどの、おいしさで皆あっという間に食べつくしました。昼食後は、昨年に引き続き「山北町パークゴルフ場」に移動して、皆でパークゴルフを楽しみました。三度目ということで、皆ものすごく腕をあげ、余裕もでき山北町の地元のお年寄りの方々との交流もでき、とても楽しい時間を過ごすことができました。

その後、信玄かくし湯ともいわれている「中川温泉」に浸かり、パークゴルフでかいた汗を流しました。夕食は、炭火焼の焼き鳥、たれを漬け込んだ牛カルビ、ジャンボステーキなどを食べました。朝食は、豪華な豚汁を作り、おかずはアジの干物を炭火で焼いたり、少し豪華なものとなりました。

この男子宿泊訓練『夏季特別合宿』を終了して思うことは、参加した利用者一人ひとりの成長で、片付けにしても、自分の役割をきちんと自覚し、自主的に行動する場面が多く見られ、本当に各自が充実した時間でした。来年度も男子宿泊訓練『夏季特別合宿』を実施し、利用者一人ひとりの成長を楽しみにしています。

今後の予定

10月5日 ありんこ祭
27日 障害者レク大会

第8回 ありんこ祭り 開催のお知らせ

日時 10月5日（土）
12:00～14:30 *雨天中止
場所 鴨宮みどりの広場
(第3ありんこホームから徒歩約2分)
是非いらしてください！！

連絡先

ありんこホーム（就労継続支援B型）

小田原市浜町4-29-1

TEL0465-24-5486 Fax0465-20-5477

第2ありんこホーム（就労継続支援B型・生活介護）

小田原市扇町2-31-5 扇町マンション1階

TEL0465-35-8393 Fax0465-42-9290

第3ありんこホーム（地域活動支援センター）

小田原市鴨宮328 TEL/Fax0465-48-8269

ありんこホームふじみ（就労継続支援B型）

小田原市南鴨宮3-6-11 TEL/Fax0465-46-9109

ありんこホームすまいる（グループホーム）

小田原市南鴨宮1-14-27 TEL/Fax 0465-48-5503

ありんこホームあいりす・なでしこ（グループホーム）

小田原市鴨宮522-2

TEL/Fax0465-46-6427（あいりす）

TEL/Fax0465-46-6438（なでしこ）

ありんこだより

第290号

令和元年10月1日発行

厚生労働省、第3ありんこホームを視察

去る8月30日、厚生労働省の方が地域活動支援センターの第3ありんこホームに視察のため訪れました。

視察の目的は、国が計画している「地域ニーズに基づく効果的な地域支援事業の実施」を効果的に推進するための実態調査です。神奈川県では小田原市が調査対象エリアとなり、小田原市の紹介で「ありんこホーム」が視察対象の事業所になりました。

当日は厚生労働省の障害保健福祉部 企画課と関係団体の方が4名、小田原市の職員の方2名が訪れ、作業現場や自主製品を見学した後、会議室でヒヤリングを行い、予定をオーバーして2時間近くの視察になりました。

調査の内容は、第3ありんこホームが行っている地域支援活動と事業所運営について、その実情と課題についての視察とヒヤリングでした。

ありんこホームが長年かけて築いてきた地域関係諸団体との連携やネットワーク、壁を

設けず広く地域で困窮している人を受け入れる姿勢は高く評価していただきました。また食品から石けん、手芸品などの自主製品の完成度についてもお褒めの言葉をいただきました。その一方で、自主製品のビジネス展開の在り方や福祉業界全体の課題でもある組織運営の在り方でもある計画性、プロセス管理や標準化等の立ち遅れなどについて共通認識がなされ、ありんこホームとしても今後の事業課題が見えてきた、そんな意義のある視察でした。

今回の視察結果が国が推進する「地域ニーズに基づく効果的な地域支援事業の実施」に少しでも役立つことを願っています。



市役所ロビー展に参加！！

地域ささえ愛あみんとありんこホームの共同で毎年1回市役所の2階、正面玄関奥の一角をお借りして開催している「ロビー展」が9月24・25の2日間開催されました。「あ

みん」からは日頃から丹精込めて製作してきた手作りの小物など、ありんこからは自主製品のほか、リメイク製品やパッチワーク製品などを展示販売し、多くのお客様にお買い上げ頂きました。24日には加藤市長も来場され、暖かいお声を掛けていただき更に製品もお買い上げ頂き、居合わせたスタッフは感激していました。来年に向け製作の意欲が増しました。



賛助会員募集！！

賛助会費（1年）

- 1) 個人：1口2,000円（1口以上）
- 2) 法人・団体：1口5,000円
（1口以上）

お気持ちのある方は各事業所までご連絡ください。

よろしく願いいたします。

※ 振込先 郵便局 通常貯金

記号 10270

番号 15932091

名前 トクヒ) オダワラニジノカイ

新グループホーム

ありんこホーム「あいりす」・「なでしこ」 令和元年9月1日開設！！



関も異なり、それぞれ独立した施設として設計されています。

今年1月26日の地鎮祭を皮切りに、2月に入り着工、8月20日に工事を終え、



内覧会に訪れた牧島衆議院議員

8月24日に内覧会を催し、8月31日までに入居者全てが引っ越しを終え、9月1日に無事に開所することができました。法人としては既に4年前、南鴨宮にGH「すまいる」を開所していて、今回はその経験を踏まえた設計が各所に施されています。
(施設名の由来)
男性用GHの「あいりす」はアヤメ科の総称でギリシャ語で「虹」を意味するイリス iris に由来しています。法人名が「虹の会」であり、男の子の健やかな成長を願う「端午の節句」の菖蒲湯に用いる菖蒲もアヤメ科に属することから、願いを込めて「あいりす」と名付けました。また女性用GHの「なでしこ」は撫でたくなるほど繊細で美しい花姿に由来した花の名前で、清楚なたたずまいで周囲に好かれる女性であることを願い名付けました。

(安全性と利便性、静かな環境)



内装の床材にはライトブラウンの木材を用い、壁は白を基調として目に優しく落ち着いた

暑の中、障害者グループホーム（以下「GH」）の「あいりす」と「なでしこ」の2施設が、鴨宮地区に開設されました。敷地面積448㎡、建物は2階建て、1階が「あいりす」で男性5名が、2階の「なでしこ」には女性5名が入居するGHです。2施設は玄関も異なり、それぞれ独立した施設として設計されています。



内覧会に訪れた方々



色調で統一しています。

広いリビングにはダイニングテーブルに加え、55インチの大型TVに革張りのソファが置かれ、食後の時間をくつろいで過ごすことができます。

(ホスピタリティ)

入居者の健康と安心を考え、医療法人 命宝会 マナクリニック(小田原市永塚)と提携した、万一のときをサポートする協力医療体制を整えています。入居者の方が滞在する時間帯は全て職員が常勤しています。また朝夕提供する食事は栄養はもちろん、職員の中には箱根の老舗料理屋店で腕を磨いた調理師もいて味にもこだわっています。



(感謝)

最後になりましたが、設計施工を請け負っていただいた有限会社田企画設計様、株式会社瀬戸建設様、そしてこのような機会を与えていただいたマナクリニック様、また暖かく迎え入れていただいた近隣の皆さま、その他関係者の皆さまのご支援とご協力に対し心から感謝いたします。ありがとうございました。

(これから)

開設から一月あまり、我々職員はまだまだ改善すべき課題が多々あり奮闘の日々ですが、入居者の皆さんは「あいりす」「なでしこ」をマイホームとして、それぞれの職場や通所施設に通う日常に少し慣れてこられたように感じています。

我々職員スタッフ一同、入居された方々の個性を尊重し、日々穏やかな生活が送れるよう、また地域の皆さまにも親しまれる施設を目指して、これからも試行錯誤を繰り返し改善して参りたいと思います。どうか皆さまには、今後とも暖かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



2階へのエレベーターと階段



秋のバザーシーズン到来！！

毎年恒例の秋のバザーの季節となります。皆様是非いらして下さい。

- 10月5日(土) ありんこ祭会場
- 10月12・13日 国際医療福祉大学「潮風祭」
- 10月12日(土) あしがらマルシェ (BIOTOPIA)
- 10月19・20日 生きがいふれあいフェスティバル (いそしぎ)
- 10月26日(土) 下府中祭
- 11月9日(土) ホロホロ朝市 (上府中公園)
- 11月16・17日 足柄アートの森 (旧北足柄中学)
- 12月7日(土) 県西地区障害者文化事業 (マロニエ)